

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 30日

事業所名 放課後等デイサービス ことのは

	チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5				
	2 職員の配置数は適切である	5				
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	1	1		・利用者の中に車椅子を使用している人等が居ないため、今のところなされていない。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1			・個についての検討(目標設定)は毎日、時間を設けて実施した。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		1		・アンケートの分析の時間を共有したい。 ・調査、相談など実施して保護者の声はくけている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			5		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5				・教材解釈、指導面については、その都度時間を取り、行った。 ・障がい者支援センター主催の講座を受講し、事業所に持ち帰り、職員間の共通理解に努める。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4		1		・個別支援計画書の期間終了時に、職員で会議を実施。次の方向性について話し合う。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2			・適応行動に関するアセスメントツールは使用していない。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5				・時、場所、構成メンバーのことを考えてプログラムを考案した。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5				・季節、行事のことを取り入れた。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		1		・宿題の他、個別課題(基礎養成)
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4		1		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5				・役割分担は確実にを行った。支援の内容は、カンファレンスでの話し合いを活かした。 ・平日は、宿題とその子にあった課題を用意し、土曜日や長期休暇中においては事前に一日の活動と、役割分担を決め、一度シミュレーションを行っている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		1		・気付いた点は共有化し、次に活かせるよう、話し合いをした。 ・支援後は、反省点やよかった点、今後の課題を話し合った。 ・その都度、実施している。 ・振り返りの話し合いをする時間を設けることができない場合は、記録用紙等を職員に配布し振り返りを行っている。

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5				・記録ノートを活用し(生活学習)情報も記入した。 ・日誌、個々の毎日の記録で支援内容の詳細を記録。次へ繋げている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				・カンファレンスを実施し、モニタリング計画に繋げている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	2		3		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		1		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		1		・公開授業に参加し、担任の先生と子ども(利用者)の情報共有を行った。 ・学校公開週間に学校を訪問し、情報共有を担任の先生と行った。送迎時の対応では、担任の先生との連絡を確実に行った。 ・ヒヤリハットを作成。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			5		・現在のところ事例がない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		4	1		・現在のところ事例がない。今後状況に応じて支援していく。 ・低学年児の利用があれば行う。現在、療育センター、聴覚特別支援学校幼稚部との連携、情報交換は行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		4	1		・現在のところ事例がない。今後、状況に応じて支援していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	1		・発達障がい者支援センターの研修に参加している。 ・個別に担当STと連絡をとり、情報共有を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4	1		・兄弟児と関わる機会は設けている。その他については今後取り組む予定。 ・土曜、グラウンド開放や地域行事を通して。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		4	1		・まず、私たちについて地域の方に知ってもらうことが先決。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5				・保護者がお迎えに来た際に今日の出来事や、学習の進み具合(理解度)などを伝えている。 ・保護者の送迎の際や、連絡帳等を使用し、状況を共有している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4		1		・保護者の送迎の際や、連絡帳、個別の面談により、必要に応じて行っている。希望があれば、個別面談に応じている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		1		・面談の都度行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5				・経験を活かし、助言。 ・希望があれば、個別面談に応じている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2	1		・親の会に参加し、情報提供等を行っている。

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		1		<ul style="list-style-type: none"> ・二度と同じことが起きないようにそれらに類した件についても共有化してきた。 ・保護者からの苦情や相談等は、職員間で情報共有し、今後の課題についての話し合いの場を持ち、適切に対応する。 ・職員間で共有し、改善に向けての話し合い等を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		1		
	35	個人情報に十分注意している	5				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		1		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4	1		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・避難方法、避難場所の確認は行っているが、訓練には至っていない。 ・年2回実施する計画を立てる。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	1	2		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		1	4		・事例無し
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		1	4		・現在、事例なし。対応マニュアルを作成予定
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		2		・対応については、即共有している。